

「エコツーリズム検定賞」講評

安田 亘宏（NPO 法人日本エコツーリズム協会 理事）

この賞は、環境や地域を大切にする、旅を愛するエコツーリズム検定の合格者、つまりエコツーリストたちが選んだ賞です。今回の受賞は静岡県藤枝市、「出かけて 出会って感じる ふじえだローカル旅」です。タイトルもなかなか素敵です。おめでとうございます。

どんな観点から選んだかをお話しします。今回の最大のテーマである、もちろんこの五感がしっかり意識されていること、もう一つは、今、次々に新しい旅ができています。新しい、新鮮な、ユニークな、そんな企画かどうかを見させていただきました。さらに、地域の多くの人々、あるいはさまざまな層の人々を巻き込んでいるか。また、地域に根付き始めているのか。そして、持続性が感じられるか。そして、何よりも、エコツーリズムの賞ですので、地域外の人たちに楽しい旅、楽しい旅行になっているか。こんな観点からエコツーリストたちが選んだものです。

まさにこの静岡県藤枝市観光協会のこの企画は、見事にそれらの条件を満たしていると思っています。これらの要素がきちりあって、日本の観光にとって今一番重要な着地型の観光、地域でつくる旅行となっている、これが大きなポイントだったと思います。日本一の藤の里、元祖サッカーの町として有名な藤枝市ですが、名産のお茶をテーマにして、その香り、味、感触を楽しんで、さらに地域の人々の話を聞く。農家の町を歩く。山を歩く。多様なプログラムを実施しています。まさに五感で地域の自然、文化、産業、暮らしを感じる旅です。

それだけではなくて、旅行者、あるいは地域の人々、さらに地域の中学生などを巻き込みながらディスカッションし、コミュニケーションしていく。このプロセスは大変見事でした。思いつきではなく、きちりとしたポリシーからできている、立体的なプログラムだと感じました。とても素晴らしい企画です。ぜひともこれを継続して、旅行ビジネスとして発展していくことをお祈りします。本当に素晴らしいエコツーリズムです。おめでとうございます。